

## アートのまちづくり推進事業

### 1 事業の概要

教育や福祉、コミュニティ再生など、地域が直面している課題を解決に導き、地域の発展を促すため、「アート」的な視点を活用し、地域に埋もれた資源を掘り起こし、市民力を結集させ、市民の参画・協働のもと、活力ある地域を創出する。

### 2 これまでの経緯

平成18年11月	多文化都市八戸推進会議設置
平成20年3月	「多文化都市八戸推進のための提案書」(多文化都市八戸推進会議)
平成20年5月	多文化都市八戸推進懇談会設置
平成21年10月	市長マニフェストに「アートのまちづくり」が盛り込まれる
平成22年5月	(財)地域創造の「地域文化コーディネーター派遣モデル事業」により、東京藝術大学の熊倉純子教授が派遣され、市長に直接助言を行う
平成22年9月	「はちのへアートのまちづくり提案書」(多文化都市八戸推進懇談会)
平成22年10月	第5次八戸市総合計画後期推進計画に「アートのまちづくり」が盛り込まれる
平成23年2月	八戸ポータルミュージアム開館
平成23年4月	「市民練習場の整備に関する提案書」(多文化都市八戸推進懇談会)
平成25年1月	「アートのまちづくりを語る会」開催
平成25年2月	「(仮)文化施策ビジョン策定ワーキング」開始

### 3 アートのまちづくりにかかる事業内容について(主なもの)

#### ①南郷アートプロジェクト

平成23年度から実施。地域の文化活動の中核施設となる南郷文化ホールがあり、地域資源も豊富な南郷区において、地域住民とアーティストとの交流による新しいまちづくり事業。

アーティストが地域コミュニティに入り込み、地域住民と一緒に作品創作に取り組むコミュニティプロジェクトや、南郷の資源であるジャズとコンテンポラリーダンスを組み合わせたダンス公演、そして、南郷区在住のアーティスト・山本耕一郎氏の住居「山本さんち」を拠点に、アーティストと地域住民が年間を通して交流しながら、協働で地域が抱えている問題と向き合い、新たな価値の創造を目指す活動を実施する。

#### ②工場アート「八戸工場大学」

平成24年度から実施。八戸市内に数多くある工場を地域資源と捉え、産業観光に結びつけるとともに、文化的側面からアプローチすることで、八戸の工場の新たな魅力を市内外に発信する。

平成25年度は、継続的で開かれた市民活動の場となる「八戸工場大学」を開学。市内の工場群の全体像を掴むことを狙いとし、工場を多様な文化的切り口で読み解く講座の開催や、受講生やアーティストによる「八戸工場大学文化祭ー工場サイコウ」を実施した。

### ③まちなかアトリノベーション拠点整備事業

平成25年度から実施。空き店舗を活用し、建物のリノベーションだけでなく、文化活動そのものの在り方を変え、更なるブラッシュアップを目指す試み。クリエイティブな活動をしたい人が集まる場、文化活動の担い手を育成する場を目指す。

平成25年度は、旧福年商店を借り上げ、市民ボランティアによる「大そうじ大会」や「ペンキ塗り大会」などを行い、「福年ファクトリー」として整備。活動拠点としての利用方法の検討や利用団体のサポート、中心街で行われるホコテン等の行事と連携するイベントやスタッフによる自主企画、情報発信など様々な取り組みを行った。

### ④美術館連携事業

平成23年度から実施。八戸市美術館特別展の期間中、特別展及びそのテーマに関連したイベントの開催や、中心商店街協力店において特別展の半券を持った人に割引サービスなどを行うなど、美術館に来館した人を商店街に誘導することにより、文化の普及と中心街の活性化を図る。

### ⑤芸術環境創造専門員の採用

全国のアーティストに精通し、アーティストとのネットワークも豊富で専門的知識を有する人物を「芸術環境創造専門員」として平成23年度から採用している。

地域課題を「アート」の力を使って解決に導き、まちを魅力的に変えていくため、住民の思いを吸い上げ、アーティストと地域（市民）をつなぎ、事業をプロデュースし、スムーズな運営のための環境づくりをする役目を果たしている。平成26年度、1名増員。